

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう  
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英  
幹事 兼子 英聡



ロータリーは  
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

## 第1625回例会

令和2年6月11日 (18:30～19:30)



### ○ソング

- 四つのテスト

### ○スマイルBOX

- 中目公英会長 (本年度残り3回だけになりました。今日も皆様にお会いでき、うれしく思います。今日梅雨入りしたそうです。コロナ禍の本年ですが、天候だけは穏やかであるといいですね。)
- 高島裕会員 (先週は誕生祝いを頂きありがとうございました。今月は結婚記念日もありますので給付金を派手に使いたいと思います。)
- 鶴丸彰紀会員 (誕生日お祝いを頂きありがとうございました。お友達キャンペーンのチケットと合わせて、家族円満のために外食に有効利用させていただきます！)
- 居川孝男会員 (三男、陽明が無事税理士登録をしました。今後、私同様ご指導いただければ幸いです。)
- 永野文雄会員 (白河地方も今日から「梅雨入り」なそうです。健康に注意しましょう。)
- 宮本多可夫会員 (5大部門の委員長さん、回顧ご苦労様、と同時に一年間の活発な活動に感謝いたします。)
- 関谷亮一会員 (欠席の連絡をミスってしまいましたがSAA (吉田委員長) のやさしい心で出席を許可していただきました。ありがとうございました。)
- 山田顕一郎会員 (とりあえずスマイルです！)



### ▶第1625回例会出席状況 (R2年6月11日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	20名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	7名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	27名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	51
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	52.9%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

中目公英会長

今日も皆さん方にお会いできて嬉しく思います。私の担当する例会、今日を含めてあと3回でございます。大変肩の荷が軽く飛んで上がりそうな気分であります。皆さん方にお伝えをするロータリー情報もわたくしが伝えるべきものは残り少なくなってまいりました。今日は会長の時間をお借りをいたしまして、今年度のロータリー国際大会について少しお話をさせてもらえればと思います。今年はハワイで国際大会を開催する予定でしたが、このコロナの関係で中止となりました。ただ、国際ロータリーの執行部でもいろいろと対策を練りまして、バーチャル国際大会として6月20日から26日まで開催されます。私も27年ロータリー歴はありますが、不真面目なロータリアンで、国際大会に参加したことは大阪であった時1回だけで、その時もただ行っただけで会議はほとんど何も聞いてなかった記憶しか残っていません。皆さん方の多くも国際大会に参加をするのは少ないのではないかと思います。是非、バーチャルで開かれる国際大会にインターネットを通じてご参加をいただければと思います。現在、マイロータリーの中に国際大会のページが載っておりまして、私は参加しますということを表明するサインアップを受け付けている最中でありまして、是非サインアップをしていただきまして、少なくとも6月20日と6月21日の本会議だけでも国際大会の雰囲気味わっていただければと思います。6月20日は「ロータリーと共に力をつなごう」、原語で言いますと Together we connect というテーマでもって開かれます。現地時間は朝の8時から9時15分までなのですが、日本時間は夜の10時から11時15分までとなっております。多少ほろ酔いになっていたとしてもパソコンの画面の前に座ってるだけでいいのです。それから、6月21日の日曜日は同じ夜の10時から11時15分まで、「ロータリーと共に学びを深めよう」 Together we learn という題でもって本会議が執り行われます。是非、皆さん方ご参加をいただければと推奨いたします。簡単ではありますが今日の会長の時間といたします。今日は、五大部門と先週の小委員会の残りの委員会での回顧になっておりますので各委員長さん、どうぞよ

ろしくお願いいたします。

### ■幹事報告

兼子聡幹事

- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー芳賀裕 ガバナーエレクト石黒秀司：国際ロータリー第2530地区2020-21年度会員増強・拡大ロータリー情報委員会セミナー開催のご案内
- 白河駅伝競走大会実行委員会 会長鈴木和夫：第25回しらかわ駅伝競走大会実行委員会総会の開催について
- 白河市長鈴木和夫：街頭献血キャンペーンの実施と記念品等の協賛について

### ■本日のプログラム

#### 一年回顧

#### ○S A A

吉田充委員長



皆さん、こんばんは。会場監督一年間務めさせていただきました吉田でございます。会場監督S A Aという委員会、初めて配属で何を最初やっていいのかわからなかった部分はあったんですが、会運営の中で会員の皆さんが楽しく一年間を過ごせるようにという思いで頑張ってまいりました。いろんな意味合いで私一人ではできなくて、渡部会員と池田会員、湊会員、それから事務局の大竹さんに一年間お世話になったということがございます。本当にありがとうございました。会場監督をやるにあたって、今年はとにかく楽しく例会運営ができるような形を考えていきたいという思いでやったのですが、まず一つは例会のお食事という部分で皆さんに満足していただけるようなお食事をこの第一ホテル担当の方と、一週間一週間今週は何にしましょうかというふうな連絡を取り合いながら、そのお弁当の内容もどういったものということも含めて協議した上でお弁当が毎週変わったと思うんですが、それでも好き嫌いもありますでしょうし、ちょっと物足りないなあとという部分も例会の中で一人一人の会員の方々に今日の食事はどうだったのか聞きながら、翌週にお話を反映させていくような流れを取りました。一年間、本当に満足いったかどうかという部分は皆さんの食べたもの見て判断していただくしかありませんが、それはそれで一生懸命やったかなというふうに思

います。あともう一つ、お食事を残さないようにということで気を付けまして、皆さんに出席欠席出てない人もいたりするので、その方には出てなかったですよというふうなことを伝えたり、出席なのか欠席なのか大竹さんのほうから連絡して確認していただいたり、そういった部分でお食事の数をなるべく残さないようにということでやってきました。今日もお弁当びったりでした。1個も残らない部分でできました。そういうふうな形で一年間皆さんのおかげをもちまして、本当に楽しくやってこれたかなというふうに思います。これでS A Aの回顧という形にしたいと思います。また、来年から一つ新しい事業が始まりますが、その節もよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

○職業奉仕委員会(小林義勝委員長) 代読 兼子聡幹事



委員長さんがちょっと欠席なものですから、代わりに代読をさせていただきます。職業奉仕委員会の一年回顧につきましては、年度初めには数々の奉仕活動を計画をしておりましたが、諸般の事情で実践することができませんでした。2月の第1例会で、「株式会社朝日ラバー」代表取締役社長、渡邊陽一郎様をゲストに迎え卓話をいただきました。この白河地区に工場を立地した経緯、取り扱っている商品の紹介、従業員と経営陣とのコミュニケーションをとることの大切さ等をととも勉強になるお話をいただきました。会員の方々はもとより、関係された皆様に心より感謝を申し上げ、一年の回顧といたします。ということでございます。以上でございます。

○社会奉仕委員会 齋藤孝弘委員長



皆さん、こんばんは。社会奉仕委員会の回顧の前にちょっと悲しいお知らせが一つあります。実は昨日、諸橋君がゴルフカートに轢かれまして骨折いたしました。約2~3週間は入院するんじゃないかということですので、コロナの関係でお見舞いは遠慮することですので、皆さん戻ってきたら楽しく遊んでやってください。それでは回顧させていただきます。本年度から、社会奉仕委員会単独の委員会ということ

で、会長の思い入れと今までやってきた経緯ということで、「那須甲子少年自然の家」のほうのロータリーの森の現状の視察等を決定してまして、それを現状視察してそれで記念碑を新しく作るか新しくまた記念事業をするかということで計画していたんですが、「那須甲子少年自然の家」のほうの事情とコロナの関係で移動例会等も考えていたんですが、それもこの今回の騒動でこの計画は頓挫してしまいました。ですので、次年度以降何年か後になるかわかりませんが、またどこかでロータリーの森の視察でもしていただければなと思っております。それと、今年は青少年育成についてロータリー財団のほうから、できれば資金の申し込みを行って白河市内の小中高に何か寄付できればなと考えてました。私がP T Aに携わっている時に、どうしても体育文化の費用が非常に少なく、県大会に行く費用が足りなかったり、全国大会なんかに行くとかかなりの金額がかかって、それは市からの予算なんていうのは本当に微々たるもので、非常に全国大会なんかに行くとお金がなくなってしまうという現状があって、非常に苦労した思いがあります。それに伴って、特に楽器なんかは非常に古くて新しいのを買えない状況とか、そういう修理なんかも非常にお金がかかって、なかなか新しい楽器も買えないしという現状がありまして、これはちょっとロータリーのほうで何とかしたいなと思っておりました。その中で、第一小学校の器楽部が全国大会で最優秀賞ということで、ちょうど期間もはまって「コントラバス」を寄贈するということになりまして「コミネス」の発表会の報告大会で、その時に壇上のほうで寄贈してまいりました。現物も届きまして今、盛んに練習始まった頃だと思っております。今後もしできれば年内中に一度、小学校のほうに訪問して中目会長と寄贈式をやってみたいなと思っております。以上です。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

○プログラム委員会(櫻岡敏之委員長) 代読 兼子聡幹事



それでは、プログラム委員会の櫻岡委員長より原稿預かっておりますので、代読をさせていただきます。本年度は、2019年7月4日の第1589回から始まり、2020年6月25日まで39回の例会が開催。新型コロナ

ナウイルス感染防止につき、11回の例会が休会となりました。例会では、各担当委員会例会、恒例の各種定例会のほかに、4名の会員卓話、7回のゲスト卓話で一年間のプログラムを構成しました。ご協力をいただきました会員の皆様には本当に感謝申し上げます。また、急なプログラム変更やゲストからの要望など、ご理解とご協力をいただきました。会長、幹事、そしてSAAの皆様には心より感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

○米山記念奨学会委員会

居川孝男委員長



目標は3名でして佐藤清作先生、中目会長と私とでご協力いただきまして、目標は達成いたしました。あと今年からクラブから一人五千円を積み立てていくということで出しております、多分事務局さん五千円を各自にロータリー財団の寄付金の領収書を貰えるように申請してくれているんですね。ということで、今年末来年の確定申告の時に皆様方に五千円の寄付の分の所得税の寄付金控除ということで、基本的に二千円が足切りになります。ですから、三千円所得控除の税額控除の対象になりますので、併せて今年度別な寄付金があると、それらも有効に使えるという、今度は一つ二千円だけなのでもっともっと新年度に寄付していただければもっと寄付金控除ができますし、特定の寄付であれば多分中目さんと税金が1割くらい安くなる。吉野次年度だと2割くらい安くなる。所得に応じて税率が変わってくるということでございますので、所得税払っとかないと寄付金控除しても戻ってきませんが、高額の方になれば有効に使えると思いますので、是非その五千円のやつプラス新しいこういうふうな何かのご時世の寄付があれば合わせてお使いいただいて、各自所得税の確定申告で年末調整では使えません。確定申告で使えるようになりますので、ひとつ戻るので確定申告ネットで今出来ますのでやってみるのもひとつ勉強かと思えます。一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

○ゴルフ愛好会

齋藤孝弘会長



ゴルフ愛好会の回顧を行いたいと思います。会員同士の交流を深めてというのが第一の目標で、JCとYEGとの交流コンペ、あと姉妹クラブのコンペなどを企画することになっておりました。コンペも今年2回行いまして、あとはJCとYEGと姉妹クラブのコンペも行いました。そのほか、分区などのコンペの参加も行いました。コロナの関係で後半のコンペはできませんでしたが、次年度に繋げていきたいなと思っております。よろしくお祈りします。

○野球愛好会 (小林義勝監督)

代読 兼子聡幹事

こちら監督から原稿を預かっておりますので、代読をさせていただきます。今年度の活動を報告いたします。6月30日、全国ロータリー甲子園野球大会で、大分県の別府北ロータリークラブさんと対戦しました。前日からの雨のため、4回途中4対4の引き分け試合でした。9月16日、FIT野球大会はこれまた雨のため試合は中止となりました。「スパリゾートあぶくま」にて、白河ロータリー、大子ロータリー、白河西ロータリーの3クラブで楽しく懇親会を行い懇親を深めてまいりました。10月18日、東北地区親睦野球大会は宮城県の仙台市営球場にて開催され、私たちは岩手県の大船渡西ロータリークラブさんと対戦し勝利することができました。次年度は、我がクラブがホスト役で大会を運営しますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いをいたします。会員の皆様方には、一年間応援をしていただき心より感謝申し上げます。

○中目公英会長



それでは、先週今週と五大部門並びに小委員会委員長の回顧ありがとうございました。時間が余りましたので、これは会長責任で何か喋らないとまずいなと思っていましたので、ちょっとここでお時間をいただいております。5月の最終週の土日と先週の土日で、地区研修協議会がオンラインで行われました。日本全国のそれぞれの地区の中で、多くの地区は書面による地区研修協議会で、分厚い資料を送って読んでいってくれ、あとほったらかしという地

区研修協議会がほとんどでした。しかし、石黒次年度がバナーはオンラインでやりたいということで、2530地区は先進的な地区としてオンラインでいたしました。また、先週の例会が終わった後、第2回クラブ協議会が行われまして、着々と吉野・堀田年度が進んでいます。今週はレターボックスに入っていないから、おそらく来週皆さん方に次年度の所属委員会が全部オープンになるんだと思います。昨年の11月末の、我がクラブの臨時総会でクラブの定款・細則を変更させていただきまして、吉野・堀田年度で、変わったところは中長期戦略委員会がなくなり、ビジョン推進研修委員会という委員会名に変更になりました。一番の変わったところは会長エレクトのポジションと副会長のポジションが変わりました。今日ここにおられますから、鈴木孝幸さんと高嶋裕さんは第2回クラブ協議会の時になんで今度俺は何もないのかと、ひしひしと感じたんだと思います。それはロータリーの考え方がこういうふうになったんです。今まで、ロータリーは五大部門、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、これを五大部門といいます。この五大部門がみんな同等、平行的に全部等しく横並び状態と考えてきたわけです。我がクラブの定款・細則はそういうふうになっていたわけです。クラブ奉仕も国際奉仕や職業奉仕、社会奉仕も同じレベルで、その一つの部門としてクラブ奉仕があったというわけがあります。今度の定款・細則変更によりましてクラブ奉仕という名前はなくなってしまいました。それはどういうことかという、その五大奉仕が並列化のどれもこれも同じ奉仕ではないんだということを国際ロータリーは言ってるわけです。昨年末の例会の会長挨拶の中で、あるいは今年初めだったか記憶は不確かですが、皆さん方に1枚のペーパーをお渡しをして説明させてもらったことがあります。ロータリーの樹というイメージです。ロータリーを、根っこが生えて大きい太い幹があって、枝があって葉っぱがあると例えた時に、クラブ奉仕というものは根っこのポジションにあるもので、それ以外の職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕もいってみればクラブ奉仕の中の大きい一部門だと国際ロータリーは考えているというわけがあります。今まではクラブ奉仕Ⅰが会長エレクトで、クラブ奉仕Ⅱが副会長だったのですけれども、会長エレクト

と副会長は無任所になりました。つまり、会長と同じ事を全部考えなさいという意味です。会長エレクトと副会長のポジションは、会長と同じように全部担当するというポジションで、2年前から会長と同じようにすべての事に関与して、すべての事について俺だったらどうしようと、万が一会長に急に何かあった場合にすぐ代わりうるようなポジションとして会長エレクトと副会長があるということでもあります。本当はそれを細則の中に書きたかったのですが、宮本先生がいやそんなこと書かなくたって会長エレクトと副会長になったとはそういう気構えを持ったからなるんだから、そこまで書かなくたっていいと強いサジェスションをいただいたので細則には書きませんでした。会長エレクトと副会長のポジションが宙ぶらりんになっているのは何もしなくたっていいと意味では全くなくて、会長と同じことをすべてについて考えなさいという意味だというふうに理解をしていただきたいところです。クラブ奉仕Ⅰとクラブ奉仕Ⅱという名前はなくなっただけではいるのですけれども、実質はあり、クラブの今後3年間の方向性を担っていただく3人の方々には今回の定款・細則の変更で、任務が強く重たくなったのだと肝に銘じていただければ大変ありがたいと思っています。本当は来週の会長の回顧の時に喋ろうと思っていたことの一つを、お願いしたいと思っています。それからもう一つ、お話をしたいのは、我がクラブは来年の地区大会の時にロータリー賞受賞はもうほぼ確定しました。しかも、シルバー賞、ゴールド賞、プラチナ賞というロータリー会長特別賞の中でも一番上のロータリープラチナ賞をゲットできることが確定しました。これは皆さん方のお力です。吉野年度の地区大会にはみんなでごぞって参加をして、ロータリー賞の中のプラチナ賞を貰いましょう。我がクラブとしては、事業として鳴島年度と私の年度で何か変わったことをしてるわけではないのですが、ロータリー賞を貰うための要点だけを抑えただけという違いなんですね。ですから、吉野年度の時も要点を抑えれば必ず我がクラブは、毎年必ずクリアできるほど活発なクラブですから、それは継続してもらえればいいと思います。それともう一つだけ。これは残念な事のほうとしてお話ししないといけないのですが、先程、齋藤孝弘社会奉仕委員長からちょっと話が

出ましたが、ロータリー財団のお金を使って何かしようと考えた場合、2530地区のロータリー財団の年間のスケジュールでは、自分の年度でやりたいと思ったら、その前年度11月までに意思表示をし、年明けの3月までに事業計画を出さないと、7月から始まる年度の事業にロータリー財団の補助金が貰えないんです。ただ、その次の年度の事業を誰が計画するんだと、我がクラブにはまだ組織だってそれを考えるという担当委員会が決まっていらないんですね。これを早めに決めないと。先程居川先生から話があったとおり、我がクラブは財団60万円、米山に60万円づつ寄付してるんです。米山は今回、チョウ・ナンダ・トゥンさんが来て世話クラブになりましたから、出した分以上に帰ってきてチョウ・ナンダ・トゥンさんに奨学金を差し上げることができます。我がクラブの事業実績になります。財団は60万円出していると3年後に四分の一、15万円貰えるんです。その15万円で事業をしようと思っても駄目で、必ず30万円の事業、つまり補助金と同額を自分のクラブの自己財源として出さないといけません。15万円貰えるということは15万円自分のクラブで用意をして30万円の事業を毎年計画するシステムを作ってしまうといいんです。11月に表明するのはどうってことありませんが、前年度の3月までに事業計画を作る委員会を割り振っておいて、その委員会は事業計画を出して承認を受けるとこまでの役目でもって、その委員会が決めた事業内容をどの委員会に割り振らせるかという問題は次年度の執行部が決めるというシステムを我がクラブで作らないともったいないでしょう。もっと大きい事業内容の計画を出せば、グローバル補助対象になるような事業だとすると、200~300万円貰うことができるわけですね。ただ、その立案する委員会が残念ながらない。次年度の組織は、来年ここの委員会の委員長やってくれと声掛けをするのが大体2月くらいです。3月までにロータリー財団の審査を通るような事業計画を決めると、誰も手足になるような委員会メンバーもいない中で、何やっていいのかわからない状態で1か月間で事業計画を立てろというのは次年度の委員長さんは手をあげざるを得ない、お手上げですと言わざるを得ないでしょう。その前の年の担当の委員会で、自分たちで事業しなくなっただけいいけれども、その次の年度にこういう事業をやってもらいたいという原案だ

けを作る委員会というのを決めておいた方が、いいのではないしょうか。毎年ポール・ハリス・フェローの10万円相当、1,000ドル相当のひと、毎年一人5,000円づつ、今年はその時のレートで、一人52ドルづつ寄付したことになりましたが、52ドル分の寄付をする動機づけが難しくなります。喜んで出す代わりに喜んでそのお金を社会に世の中のためになるように有効に使いましょうというほうの、使うほうの事業も寄付金を出すことと同等以上に考えないと、どうしても使えないという状況になっています。阿部克弘さんがタバコを吸う時の灰皿代わりのちょっとしたボックスを寄贈する事業もできなかったのも、結局、鳴島年度と私の年度と吉野年度と3か年間財団の金は使っていないんです。2530地区60何クラブありますけど、使っていないクラブのほうが少ないんです。使ってるクラブが大概なんです。ということは出してないのに使ってることも多いということですね。西クラブ60万円も出してるところから使ったほうがいいでしょう。もっともっと貪欲に使いませんか。貪欲に使うにも事業を立案するシステムが我がクラブには残念ながら確立されていないので、是非35年の吉野年度の時にはどこかの委員会にその次の年の3月までに、つまり鈴木孝幸年度にやる事業の計画だけを立てる委員会を是非割り振ってもらって、3月までに計画をして、その計画の内容は鈴木孝幸年度のこの委員会に割り振るという引き継ぎの仕方をすれば上手くいくんじゃないのかなと思っています。財団の補助金が貰えなかった、貰えるシステムがなかった、確率されていないというのは本当に残念な心残りな点なので、是非この欠点を次年度考えてもらえればありがたいところです。ちょっと早いですが大体このくらいで残り時間の会長の責任を果たさせていただければと思います。ありがとうございました。